

高校生のための医学教室 医学はここまで進んだ ー脳、がん、iPS、再生研究の最前線ー 報告と参加者アンケート結果

1. 報告

平成 25 年 3 月 27 日午後 1 時から約 4 時間半にわたり、芝蘭会館において、本グローバル COE「生命原理の解明を基とする医学研究教育拠点」の掉尾を飾る公式行事として、「高校生のための医学教室 医学はここまで進んだ ー脳、がん、iPS、再生研究の最前線ー」が開催されました。

これは本拠点で得られた成果を社会に還元するアウトリーチ活動の一環として、将来の進路を模索している高校生に医学研究への興味を高めてもらおうと企画されたものです。募集に応じて、京都市内を中心に、東京、岐阜、奈良、岡山など、13 の高校から 164 名もの高校生が参加し、関係者と併せて講演会場の稲盛ホールがほぼ満席となる盛況でした。

まず成宮 周拠点リーダーの「日本の将来は若い君たちにかかっている」との力強い開会のあいさつに引き続き、医学研究科・高橋良輔の司会で、医学研究科大学院生の藤本淳さんと幸長弘子さん、休憩をはさんで、iPS 細胞研究所の井上治久准教授、再生医学研究所の田畑泰彦教授がご自身の研究内容を中心に 30 分の熱のこもった講演を行いました。それぞれの講演の後は 5 分間の質問時間を設けましたが、次々と質問が寄せられ、これに引き続く 40 分間の質問コーナーでも講師の先生は引っ張りだこでした。この後、展示企画として、田畑先生と井上先生の御厚意で、人工材料と iPS 細胞の展示が行われ、参加者は熱心に人工材料の実物を手にとったり、顕微鏡をのぞき込んだりして、医学研究の現場の雰囲気に触れていました。参加者からは別添のような感想が寄せられ、「来年もこのような企画をおこなってほしい」との強い要望がありました。

最後になりましたが、本企画に絶大なご協力をいただきました 4 名の講師の方々、展示にご協力いただきました田畑研究室、井上研究室、オリンパスメディカルサイエンス販売株式会社、株式会社アステックの皆様、そして会場の運営を支えていただきました医学研究科事務部の皆様に厚く御礼申し上げます。

グローバル COE 脳・神経科学領域リーダー
臨床神経学 教授 高橋 良輔



2. 当日の様子



【開会挨拶 グローバル COE プログラムリーダー
神経・細胞薬理学 成宮 周教授】



【開会の様子】



【認知行動脳科学 藤本 淳 さん】



【iPS 研究所 臨床応用研究部門 井上 治久 准教授】



【病態生物医学 幸長 弘子 さん】



【再生医科学研究所 生体材料学分野 田畑 泰彦 教授】



【活発に講演者への質問が行われました】



【iPS 細胞見学の様子】



【医療材料コーナー展示の様子】



【グローバル COE 脳・神経科学領域リーダー
臨床神経学 高橋 良輔 教授】

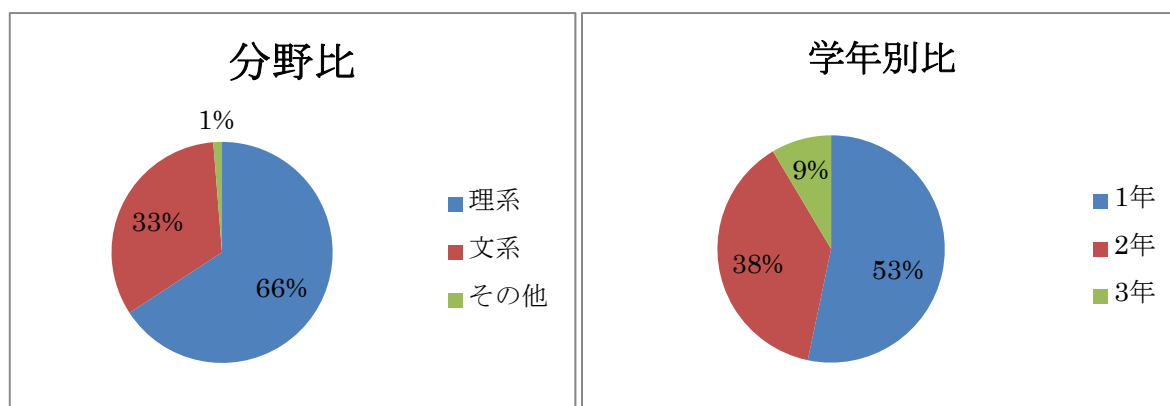
※写真の無断転載はご遠慮ください。

3. 総参加者数

- ① 179名（内高校生は164名）
- ② 参加者一覧

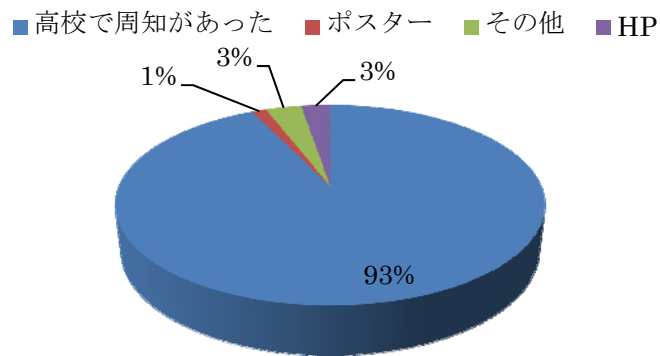
	高校名	参加数
1	花園高等学校	127
2	洛星高等学校	33
3	奈良女子大学附属中等教育学校	2
4	京都 私立 洛南高等学校	2
5	京都付立北嵯峨高等学校	1
6	京都府立洛北高等学校	1
7	私立 西大和学園高等学校	1
8	川崎医科大学附属高等学校	1
9	大阪府立四條畷高等学校	1
10	東京都私立武蔵高等学校	1
11	岐阜県立岐阜高等学校	1
12	岐阜県立岐山高等学校	1
13	立命館高等学校	1
14	その他	6
	総計	179名(内高校生164名)

③ 参加者内訳

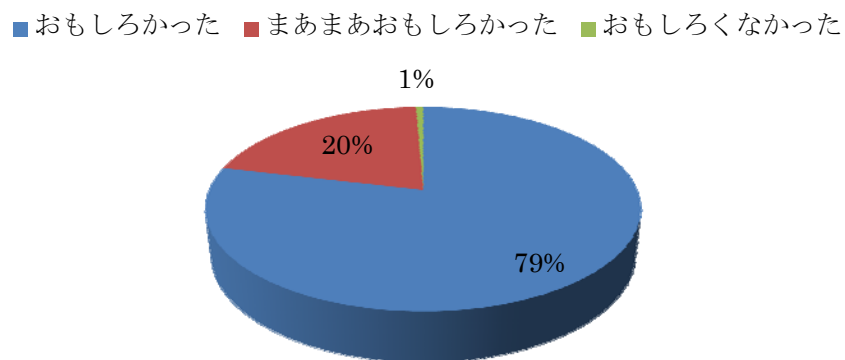


4.アンケート結果

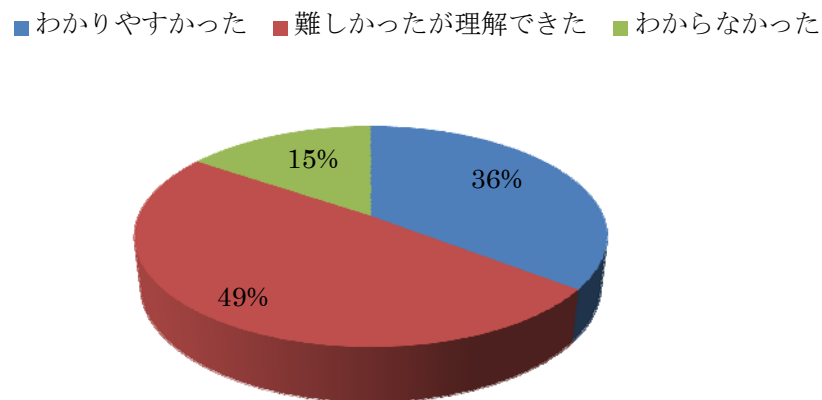
問1 今回のシンポジウムを何で知りましたか。



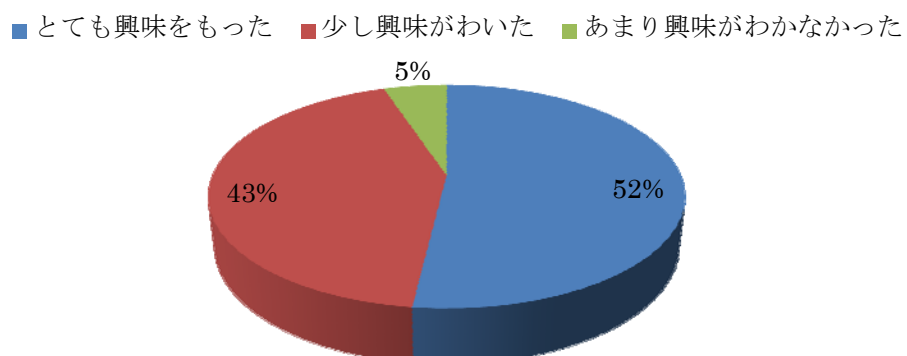
問2 今回の講演内容についてお聞かせ下さい。



問3 講演内容は理解できましたか。



問5 医療分野への興味・関心がわきましたか。



問 6 特に興味のわいた講演・展示に関するご意見・ご質問等を簡単にご記入ください。

- ・『失敗から学ぶ』神経メカニズムの話は自分にとって身近な話だったので興味がわいた。(高3・男子)
- ・サルの実験にすごく興味がわいた。脳とか神経ってめっちゃ面白いと同時に、なぞも多いなと思った。(高1・女子)
- ・2番目の幸長さんの「がんはどこまでわかった？」が現代医療の進歩にかんしんした。(高3・男子)
- ・生きたiPSを見れる、とても貴重な経験ができた！！幸長先生のがんの研究は特に興味がわきました。(高1・女子)
- ・iPS細胞についての話で、今まで機能できなくなった臓器などを再生させるためのものというイメージが強かったけれど、実際はそれだけでなく、病気を治すための研究にその病気に侵されている細胞などのサンプルみたいなものとしても使用されていると知って、驚いたし、iPS細胞の無限の可能性を感じることができました。(高1・女子)
- ・井上先生のiPS細胞についての話はやはり今旬な話題なので、とても興味深く、今後の医療に関する期待がとても高まった。(高2・男子)
- ・田畑先生のご講演の中で医学をやりたいから、医学部に入る、のではなくたとえば薬学部や工学部からも医学に貢献できるということが興味深かった。様々な学問の視点をもって物事を見ることの重要さが分かった。(高1・男子)
- ・田畑先生の好きなことがあって、そこに突き進んでいくような生き方がとてもかっこいいと思いました。また、大学は結構いろいろなことを学んでいけると言っておられたので、なんか楽しそうだなと思いました。(高1・男子)
- ・人工血管の展示について講演を聞いた時は、人工血管はもっとつるつるだと思っていたけど、実際触ってみるとざらざらしていて、「服」と同じような手触りだったので驚いた。服も繊維からできているし、同じようなものだと講演ではきいていたけど、実際に触ると聞くだけでは全然違うと思った。(高1・女子)
- ・私は看護師になろうと思うのですが、看護分野を学んでもこのような研究はできないのでしょうか。お話を聞いていて、とても研究分野にも興味がわきました。(高2・女子)
- ・今まで大学の学部で決まると思っていたけど、そうじゃなくて一つからどんどん広げられるのだと知れてよかった。(高1・女子)
- ・面白い大学の先生ばかりで、いいお話が聞けました。やりたいことがあればどんどん突き詰めればいいと思えたと、できないことないと思えました。(高1・女子)

問 7 講演会全体についてご意見・ご感想があればご記入ください。

- ・各先生がわかりやすく話してくださったし、けっこうきいたことある病気とかもでてきて、余計に興味があった。私は農学部に進学希望しているけど、医学系にも興味があったので大変参考になった。(高1・女子)
- ・医学部だから医者、薬学部だから薬の研究という訳ではなくて、あらゆる分野の知識を総動員させて今の最先端技術が成り立っているのだなと思え、自分の世界が広がりました。話を聞くことができて本当に良かったと思います。(高1・女子)
- ・プレゼンテーションの仕方で参考になることが多くあった。(高1・男子)
- ・学部の枠組みにとらわれないで自分の学びたいことを学ぶという事をきいて、自分も他の学部にも目を向けてみようと思った。(高2・男子)
- ・研究には大きな夢と自分のやる気が本当に大切だと知った。(高1・男子)
- ・研究職につくという夢が大きく広がった。(高1・男子)
- ・どの先生の話も、自分が本当に興味を持って話をしていたのですごくいいおもしろいし、話の中に吸い込まれていった。文系だけど理系に進みたいと思わせてくれる話だった。でも、そんな話を聞いたからこそ、自分の道を進んで、後悔したくない人生を生きたいと思った。(高1・男子)
- ・医療は医学部の専門分野だと思っていましたが、今回の講演を聞いて、考え方が変わりました。獣医学部に進みたいと考えているので、とても興味深かったです。(高2・女子)
- ・めっちゃ面白かったです。また機会があれば参加したいです。(高3・女子)